

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	那智勝浦町立下里小学校	上浦 一剛
学校所在地		
〒 6 4 9 - 5 1 4 2 tel 0 7 3 5 ( 5 8 ) 0 0 2 1 fax 0 7 3 5 ( 5 8 ) 0 9 4 9 e-mail simosho@za.ztv.ne.jp		
担当者名		役職名・担当教科
山口 俊 、 柴原 寛		教諭・5年生担任 6年生担任
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は山、川、海と素晴らしい自然環境に恵まれ、住みやすく落ち着いた堅実な土地柄である。かつては太田川の流れを利用した木材の集散地として栄えていたが、現在はその面影もうすれ、地区外へ働きに行く人が多くなってきている。教育への関心も高く、社会教育活動への参加も熱心で、人々の連帯感も強い。しかし、社会情勢の影響か、保護者の離職や再就職等による転出入が見受けられるようになってきている。近年、近隣の市町村への通勤に便利な距離にあるため、宅地造成が進み、それに伴って児童の転入が続いている。また、25年度より浦神小学校との統合による旧浦神小学校区の児童はスクールバスで登下校を行っている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年5・6年生 32名	職員 3名	本校、大門坂、那智大社、青岸渡寺、那智の滝
実践研究テーマ		
世界遺産を知ると共に、主体的に学ぶ心を育てる。		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	世界遺産について調べよう。	
〔キーワード〕 世界遺産学習 情報活用能力		
<p>〔単元目標〕</p> <p>1, 世界遺産について知る。</p> <p>2, 和歌山県世界遺産センターの入門講座を受講したり、実際に熊野古道を歩いたりすることで、自分たちが住んでいる地域に世界遺産があることを実感する。</p> <p>3, 世界遺産の大切さを知り、守っていこうとする心情を育てる。</p>		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 10 時間 （「 世界遺産について調べよう・まとめよう」 5 時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		
和歌山県世界遺産センター …… 世界遺産入門 次世代育成事業（現地学習等）		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	和歌山県の世界遺産を調べてみよう。 【調べ学習】 興味のある世界遺産を調べ、個々にまとめよう。	これまでの経験から、世界遺産について知っていることを出し合うようにする。 インターネット資料を活用しながら、多くの情報を収集する。	思考・判断 (ワークシート) 技能・表現 (ワークシート)
2	和歌山県の世界遺産を知ろう。 「紀伊山地の霊場と参詣道」 世界遺産センターの方の講義を聞く。	世界遺産センターの方に来ていただき、世界遺産について学習する。	関心・意欲・態度 (ワークシート)
3 ・ 4	世界遺産を歩いてみよう。 【フィールドワーク】 大門坂、那智大社、青岸渡寺、那智の滝を歩く。	世界遺産センター職員や世界遺産マスターとともに実際に熊野古道を歩き、自然や文化財に触れる。	関心・意欲・態度
5	体験したことをまとめよう。 聞いたこと、体験したことを基に学習の振り返りをする。	写真、資料、ワークシートを基に学習を振り返る。 フィールドワークで得た知識も活用させる	思考・判断 技能・表現 (振り返りシート)
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>【成果】</p> <p>6年生は、1年時の学年行事で大門坂を一度歩いたことがあったが、高学年になって再度歩くことにより初めて知ることや、社会科で学んだ歴史と重ね合わせて考えるなど、学習に広まりや深まりが見られた。また、事前に世界遺産についての情報を集め、基礎知識を入れてから世界遺産入門を受講したので、講義の内容を理解する上で役立った。調べたことを、ワークシートに自分の考えを含めてまとめさせることで、学習内容を深めることができた。</p> <p>フィールドワークでは、詳細な説明を受けることができ、世界遺産への関心を高めることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>大門坂を歩いた際には、坂道や山道を歩きなれていない児童もいて、思うように進まなかった。歩く場所や距離を考慮する必要があった。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>フィールドワーク等を通して、実際に木々の香りやたどり着くまでの大変さ、古の人々の思いなど、さまざまなことに触れることができた。世界遺産を学習・体験することにより自分の住む地域への興味関心を高めることができた。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>未来を担う子どもたちに、これから世界遺産を保護し、受け継ぐ精神を培うためには、学校内における調べ学習だけに留まらず、フィールドワーク等の体験活動に参加できる機会を増やしていくことが大切であると考えている。</p>			



世界遺産

今日、世界遺産を見に行きました。十時から、世界遺産について話を聞きました。世界遺産のことをきいて、いろいろな世界遺産があるんだと思いました。

十一時に、下里を出ました。そして大門坂の近くまで行きました。そこでバスを降り、大門坂の道を歩きました。

大門坂を歩いていく時に、大きな木がいっぱいありました。この木は何年たっているのか、ぼくは知りたかったです。

大門坂を上り最後の階段を上りきると、那智大社が見え、そこで参拝しました。そして、青岸渡寺に行き、そこでも参拝しました。青岸渡寺のかねは、大きかったです。

次に、弁当を食べました。弁当は、おいしかったです。

次に、那智の滝に行きました。行ったら、はく力があると思いました。世界遺産のことを知れてよかったです。

世界遺産、那智のたき

十二月八日に、大門坂を歩きました。

まず、学校の図書室で世界遺産についての説明を聞きました。説明してくれた人は、去年と同じ人でした。くわしくて分かりやすかったです。

そしてバスで那智山へ行きました。バスを降り、長い大門坂を歩きました。とてもつかれて足がきつかったです。だけど、友達とかと話したり、世界遺産マスターさんの話を聞いたり、楽しかったです。

長い道も終わり、那智大社にやっと着きました。みんなでお参りもして、滝が見えるところへ向かいます。滝は流れが速くて、とてもはく力がありました。

お昼ご飯も食べ、少し休んで体力も出てきました。

滝をもっと近くで見ました。近いほどはく力があるって、きれいだなあと思いました。世界遺産マスターさんが、

「滝の水しぶきが当たると、ごりやくがあるよ。」

と言っていました。しぶきがとんできてほしかったけど、きませんでした。みんなと滝を近くで見て、良い体験ができました。とても楽しかったです。世界遺産はすごいと思いました。